

2022年度 第28回 FDフォーラム

# 挑 × 選

多様な学びの支援に求められる

挑戦と選択

オンライン開催 ※一部ハイブリッド開催

2023.

2 / 18<sub>〔土〕</sub>・23<sub>〔木・祝〕</sub>・24<sub>〔金〕</sub>・25<sub>〔土〕</sub>

申込期間

大学コンソーシアム京都 加盟大学・短期大学の方

1 / 5<sub>〔木〕</sub> 10:00 → 1 / 27<sub>〔金〕</sub> 17:00

上記以外の方

1 / 12<sub>〔木〕</sub> 10:00 → 1 / 27<sub>〔金〕</sub> 17:00

# 挑×選

## 多様な学びの支援に求められる 挑戦と選択

今年度のFDフォーラムのメインテーマは「挑戦～多様な学びの支援に求められる挑戦と選択」です。3年余りに渡るコロナ禍以前から、我々大学教職員は多様な学生に対して、大学で学ぶための多様な支援を行ってきました。そしてコロナ禍で、学びの支援においてこれまで以上に挑戦してきたと思います。今後も、この学びの支援における挑戦は続き、さらに選択していくことにもなります。「挑戦」と「選択」、我々大学教職員に必要なこれらの頭文字を組み合わせ、今年度のFDフォーラムのメインテーマを「挑戦」としました。

「主体的な学び」「産学連携・地域連携を通じた学び」「障がいのある学生の学び」「グローバルに活躍するための学び」「遠隔授業での学び」「コロナ禍での学び」などさまざまなキーワードで、シンポジウムや分科会を開催します。本フォーラムが、参加されるみなさまの今後の学生支援におけるヒントになれば幸いです。

今年度も、一昨年、昨年に引き続き、シンポジウム・分科会・ポスターセッション・クロージングセッションの多くのプログラムをオンラインで開催します。ポスターセッションを皮切りに、翌週にシンポジウム・分科会を開催します。本フォーラムの挑戦の一つとして平日開催日も設けました。また、ハイブリッド形式の分科会もあります。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

第28回FDフォーラム企画検討委員会 委員長 **白鳥 秀卓**  
(京都産業大学 生命科学部 教授/教育支援研究開発センター 副センター長)

### スケジュール

日程	時間	内容	掲載ページ
2/11(土・祝)	10:00～	ポスターセッション 特設WEBサイト公開(2月28日(火)23:59まで)	P.9
2/18(土)	13:00～16:00	ポスターセッション オンライン発表	P.9
2/23(木・祝)	9:30～	第1・2分科会	P.4
	14:00～	第3・4・5分科会	P.4～5
2/24(金)	9:30～	第6・7分科会	P.6
	14:00～	第8・9分科会	P.7
2/25(土)	9:30～	第10・11分科会	P.8
	14:00～16:30	シンポジウム 「これからの大学でどのように学ぶのか～主体性を生み出す学びの多様性～」	P.3
	17:00～18:30	クロージングセッション	P.9

■ 第9分科会のみ、ハイブリッド(オンライン:Zoom/会場:キャンパスプラザ京都)で開催します。

### 第28回FDフォーラム企画検討委員会

▶ 委員長 ▶ 副委員長

▶ 白鳥 秀卓 京都産業大学 生命科学部 教授/  
教育支援研究開発センター 副センター長  
▶ 山口 洋典 立命館大学 共通教育推進機構 教授  
上野 嘉夫 京都薬科大学 基礎科学系 教授  
川田 隆雄 同志社女子大学 学芸学部 教授  
小松 正史 京都精華大学 メディア表現学部 教授  
孔 栄鍾 佛光大学 社会福祉学部 講師  
多田 泰紘 京都橘大学 経営学部 専任講師

築地 達郎 龍谷大学 社会学部 准教授  
津村 宏臣 同志社大学 文化情報学部 准教授  
中西 勝彦 京都文教大学 総合社会学部 助教  
中野 加奈子 大谷大学 社会学部 准教授  
畑田 彩 京都外国語大学 外国語学部 教授  
船附 秀行 京都先端科学大学 バイオ環境学部 教授  
三好 智子 京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 教授

# 参加要件・注意事項等

第28回FDフォーラムは、シンポジウムと11の分科会をオンライン（一部の分科会ではハイブリッド）で実施いたします。また、ポスターセッション・クロージングセッションもオンラインでの開催となります。

## 参加要件について

- 本フォーラムは、一部の分科会で会場参加される方を除き、Zoomを使用いたします。Zoomがご使用になれない方は、参加いただけませんので、ご注意ください。
- 情報端末（PC推奨）は、参加者ご自身でご準備いただき、安定したインターネット通信環境より、ご参加ください。
- Zoomアプリケーションのインストールを推奨します。ウェブブラウザからの接続も可能ですが、機能が制限される場合があります。また、既にインストールされている方は、最新のバージョンにアップデートくださいますようお願いいたします。
- 参加者の機材・環境等のトラブルは、事務局では対応いたしかねます。
- 参加者の通信環境やアプリケーション等の不具合により、ご視聴いただけない場合は、大学コンソーシアム京都では責任を負いかねます。

## 参加方法等について

### 【オンライン参加の方】

- お申込みいただいた方には、プログラムごとに特設WEBサイトをご案内いたします。
- 当日は、特設WEBサイトよりZoomへご入室ください。
- 事前公開資料も、特設WEBサイトよりダウンロードいただけます。

※各プログラムの事前公開資料は、そのプログラムの申込者にのみ公開いたしますので、他者への転送・共有はお控えください。厳守をお願いいたします。

### 【会場参加の方】

- 会場参加の方は、参加に関するご案内のメールを確認の上、キャンパスプラザ京都までお越しください。また、以下の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。

#### 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 について

- 必ずマスクの着用をお願いいたします。
- 当日受付での検温・手指消毒にご協力ください。
- 37.5℃以上の発熱がある方はご参加をお断りさせていただきます。
- 体調不良の方、また濃厚接触者として経過観察期間に該当されている方は、ご参加をお控えください。
- 会場内は、常時換気を行います。
- また、座席間隔の確保により、飛沫感染を防止いたします。

## 録画映像のオンデマンド配信について

- シンポジウム・分科会では、当日の内容を録画し、後日、録画映像のオンデマンド配信を予定しております。
- シンポジウムは、シンポジウムへの申込有無にかかわらず、本フォーラムにお申込みいただいた全ての方へ視聴方法をご案内いたします。
- 分科会は、各分科会申込者のみへのご案内となります。分科会のオンデマンド配信は、回線トラブル等により、申込分科会が当日視聴不可となった場合の代替措置として提供いたします。申込みされていない分科会の録画映像は視聴いただけません。

※ 不測の事態により、録画ができず、後日オンデマンド配信ができない場合があります。

なお、オンデマンド配信ができない場合も参加費の払い戻しはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 録画実施時間内で、参加者の方がご発言等された場合、その映像・音声は録画に含まれますので、あらかじめご了承ください。

※ 参加者ご自身の録画・撮影・録音はご遠慮ください。

## 交流会について

- 一部の分科会では、終了後に、Zoomミーティングを使用し、参加者と登壇者が交流する時間を設けます。
- 交流会を実施するプログラムについては、本リーフレットP.3～P.8の各プログラム詳細ページにてご確認ください。
- 交流会への参加は、当該プログラムの申込者に限ります。また、交流会への参加申込は不要です。
- 交流会への参加は任意です。
- 交流会では、録画は一切いたしません。

## これからの大学でどのように学ぶのか～主体性を生み出す学びの多様性～

大学にはさまざまな学生がいて、それぞれが主体的にさまざまなことを学ぶ。大学での学び方は、教える側が主体となる「教授パラダイム」から学習者が主体となる「学習パラダイム」へと変換しつつある。コロナ禍でも産学連携や地域連携など学外の活動を通して、学生の主体的な学びを実践している例も多い。また、さまざまな学生の主体的な学びの支援も多様になってきている。一般的な学習支援・学習環境整備だけでなく、障害のある学生や経済的な問題を抱えている学生への支援も必要である。

本シンポジウムでは、地域連携を通して学生が主体的に学んでいる例やさまざまな学生への支援の取り組みなども挙げて、これからの大学で学生がどのように学んでいけばよいのか議論したい。

### シンポジスト



**西田 貴明 氏** 京都産業大学 生命科学部 准教授

#### 経歴

1980年京都府生まれ、2004年京都府立大学卒業、2009年京都大学大学院理学研究科修了。理学(博士)。専門は環境政策学、生態学。2009年より三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社政策研究事業本部研究員、及び総合地球環境学研究所研究員を経て、2019年に京都産業大学生命科学部産業生命学科准教授として着任。

#### 主な活動、著書

自然環境の機能評価や自然環境を活用した政策に関する研究を行いつつ、自然の多様な機能を活かしたインフラ整備である、グリーンインフラの推進に向けた産学官連携によるプロジェクトに数多く携わる。大学教育では、環境政策とともに、PBLやインターンシップ関連科目を担当し、産学連携の下で生命科学を活かすキャリア形成を促す授業を担当している。『決定版!グリーンインフラ』(日経BP)、『実践版!グリーンインフラ』(日経BP)、『インパクト評価と社会イノベーション』(第一法規)、『環境ビジネスのゆくえ』(日科技連)などを共同執筆。



**國本 千裕 氏** 千葉大学 アカデミック・リンク・センター 副センター長/准教授

#### 経歴

1981年神奈川県生まれ。2004年慶應義塾大学文学部卒業。2009年慶應義塾大学文学研究科後期博士課程単位取得退学。修士(図書館情報学)。慶應義塾大学文学研究科助教、駿河台大学メディア情報学部専任講師、千葉大学アカデミック・リンク・センター特任准教授などを経て、2017年4月より現職。2022年より千葉大学大学院人文公共学府「教育・学修支援コース」准教授。

#### 主な活動、著書

専門は図書館情報学。大学図書館を中心とした学習環境のデザインと評価、大学生の学習行動、学習・研究を支援する専門人材の実践知について研究活動を行っている。編集に携わった図書として『ラーニング・コモンズ』(勁草書房)がある。アカデミック・リンク教育・学修支援専門職養成プログラム(ALPS)では「ラーニングコモンズの運営」および「プロジェクト研究・実習」「教育・学修支援マネジメント」を担当。教職協働による学習支援の実践と各種調査、成果の実務還元を積極的に実施している。



**永田 和宏 氏** JT生命誌研究館 館長、歌人、京都大学 名誉教授、京都産業大学 名誉教授

#### 経歴

1947年滋賀県生まれ。京都大学理学部物理学科卒業。米国国立癌研究所(National Cancer Institute, NIH)客員准教授を経て、京都大学胸部疾患研究所教授、同再生医科学研究所教授、京都産業大学総合生命学部学部長、同タンパク質動態研究所所長などを歴任。2020年4月より現職。紫綬褒章、ハンスノイラト賞(USA)、瑞宝中授章他受賞(章)。歌人としては、塔短歌会主宰(2014年まで)、朝日歌壇、宮中歌会始詠進歌選者など。読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、現代短歌大賞、迢空賞、斎藤茂吉短歌文学賞、若山牧水賞など受賞多数。

#### 主な活動、著書

日本細胞生物学会会長、Cell Stress Society International, President、アジア太平洋細胞生物学会副会長などを歴任。現在、日本医療研究開発機構(AMED)のCREST/PRIME研究「プロテオスタシス」研究統括。歌集15冊の他、『近代秀歌』『現代秀歌』『タンパク質の一生』(以上、岩波新書)、『歌に私は泣くだらう』(新潮文庫)、『生命の内と外』(新潮選書)、『知の体力』(新潮新書)、『象徴のうた』(文藝春秋)、『あの胸が岬のように遠かった』(新潮社)など多数。

### コーディネーター



**白鳥 秀卓 氏** 京都産業大学 生命科学部 教授/教育支援研究開発センター 副センター長


#### 経歴

静岡県生まれ。1998年東京農工大学農学部獣医学科卒業。2002年大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了。博士(医学)。2003年日本学術振興会特別研究員。2004年大阪大学生命機能研究科助手、2007年同助教授、2008年同准教授。2016年京都産業大学総合生命科学部教授、2019年京都産業大学生命科学部教授。2021年10月より京都産業大学教育支援研究開発センター副センター長を兼務している。専門は生命科学、とくに発生生物学。

# 分科会

2/23(木・祝)  
9:30～11:30

## 第1分科会

 定員 150名  
(加盟校優先定員: 90名)

 講義形式

 Zoom  
ミーティング

 録画あり

## あなたの大学の学習環境を教えてください!

近年、大学において正課外での学びや、正課と正課外を結びつける学習の場と機会の提供が進んでいる。一方で、大学教育の潮流は激しさを増している。これまでの18歳人口の減少という風潮に加えて、コロナ禍による乱流が生じ、水先は一層見えにくくなっている。このような状況の変化と多様な学生に対応するうえで、大学教育を支える学習環境の議論はますます重要となっている。本分科会では、学習環境のキーワードである、「ラーニング・コモンズ」、「ラーニング・アシスタント」、「学習支援」について、先進的な取り組みを行っている大学の事例を共有し、議論を深めていく。

本分科会では、3人の先生とご所属の大学の事例を報告いただき、その後の質疑応答を経て、参加者全員での議論を行う。

コーディネーター ▶ 多田 泰紘 氏 京都橘大学 経営学部 専任講師  
報告者 ▶ 澤 宏司 氏 同志社大学 学習支援・教育開発センター 准教授  
千葉 美保子 氏 甲南大学 全学教育推進機構 全学共通教育センター 准教授  
岩崎 千晶 氏 関西大学 教育推進部 教授

2/23(木・祝)  
9:30～11:30

## 第2分科会

 定員 100名  
(加盟校優先定員: 60名)

 講義形式

 Zoom  
ミーティング

 録画あり

## 産学連携・地域連携を通じた大学教育を考える

大学と産業界との連携(産学連携)や大学と地域との連携(地域連携)は、研究面においてオープンイノベーションや社会実装を推進する場として、様々な取り組みがなされている。そうした学外との協働活動は、教育面でも、学生が広く社会に目を向け、主体的に実践的な学びを得る場として貴重であるとともに、多様な人間関係を築く絶好の場でもある。しかし、実際にその場を提供しようとすると、課題も多い。例えば、そうした活動における目的の相違から大学と産業界、または地域で活動方針に齟齬が生じたり、スケジュール感にズレがあったりすることで、円滑な運営が難しくなる場合もある。本分科会では、企業との共同研究、自治体と協働した地域貢献の取り組み、学生と地域をつなげる行政サイドのプロジェクトについて話題提供いただき、産学連携や地域連携における大学の教育のあり方や運営方法について考えたい。

コーディネーター ▶ 船附 秀行 氏 京都先端科学大学 バイオ環境学部 教授  
報告者 ▶ 高田 兼則 氏 帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 教授  
高澤 伸江 氏 京都先端科学大学 バイオ環境学部 准教授  
山内 剛 氏 亀岡市 環境先進都市推進部 部長  
間崎 涼花 氏 京都府 政策企画部地域政策室 主事  
田村 祥代 氏 京都府 政策企画部地域政策室 協働コーディネーター  
國府 美紀 氏 京都府 政策企画部地域政策室 協働コーディネーター

2/23(木・祝)  
14:00～16:30

## 第3分科会

 定員 100名  
(加盟校優先定員: 60名)

 講義形式

 Zoom  
ミーティング

 録画あり

## 学びの場のダイバーシティとインクルージョンの実現

長引くコロナ禍により、よりよい学びの場づくりのために学生と教員と職員の挑戦・奮闘が重ねられている。その中には障がい(障害・障碍)のある学生のオンラインでの学習環境の共創も1つに挙げられる。振り返れば2002年、大学コンソーシアム京都は「障害のある学生の支援に関する支援者養成講座」を通じ、「今、何が話されているのか」をリアルタイムに聴覚障害学生に伝えることで、同じ時間と空間を共にしている学習者どうして疎外感が生じることがないよう、講義の情報保障を実現するための取り組みを開始した。20年の時を経た今、改めて多様な人々の学びと成長の環境はいかにして実現しうのか、ダイバーシティとインクルージョンの観点から探究する。

コーディネーター ▶ 山口 洋典 氏 立命館大学 共通教育推進機構 教授  
報告者 ▶ 星加 良司 氏 東京大学大学院 教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター 教授  
村田 淳 氏 京都大学 学生総合支援機構 准教授/DRC(障害学生支援部門) チーフコーディネーター  
土橋 恵美子 氏 同志社大学 学生支援センター スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室 チーフコーディネーター

交流会 16:30～17:00

本分科会では終了後30分を参加者の皆さんとの感想交流の場を設けます。より多くの方にご発言の機会を得ていただくためにも、25名以上の方にご参加いただいた場合には、ブレイクアウトルームの機能を使用する予定です。

2/23 (木・祝)  
14:00～17:00

## 第4分科会

 定員 270名  
(加盟校優先定員: 160名)

 講義形式

 Zoom  
ミーティング

 録画あり

## 25年度新入生は何をどう学んで来るのか(来ないのか) — 新指導要領を手がかりに大学基礎教育を考える —

今から約2年後の2025年度、新学習指導要領に沿って学んだ新入生が大学に進学してくる。新指導要領は「生涯にわたって探究を深める未来の創り手」の育成を掲げ、「主体的・対話的で深い学び」を実現するとしている。では、実際に初等中等教育はどのように変化するのだろうか。とくに、教育格差が深刻化・固定化する社会を打破する原動力としての「相互理解の基盤」となるべき基礎教育はおろそかになっていないだろうか。分科会では、学習指導要領の「理念」と「実装」を俎上に上げ、小中高大を貫く基本的な学びのあり方を考えたい。

コーディネーター ▶ 上野 嘉夫 氏 京都薬科大学 基礎科学系 教授  
築地 達郎 氏 龍谷大学 社会学部 准教授


報告者 ▶ 合田 哲雄 氏 文化庁 次長  
玉置 崇 氏 岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授  
坂本 尚志 氏 京都薬科大学 基礎科学系 准教授  
神代 健彦 氏 京都教育大学 教育学部 准教授

2/23 (木・祝)  
14:00～17:00

## 第5分科会

 定員 270名  
(加盟校優先定員: 160名)

 講義形式

 Zoom  
ミーティング

 録画あり

## グローバルに活躍出来る人材の教育に大学はどのように貢献するか — 混沌とした世界で主体性を発揮できる人材の育成に向けて —

世界は混沌とした時代に突入し、今後このような状況が世界を覆い、続いていくことが想定される。一方、世界のグローバル化はますます進行し、世界の人々が共生しなければならない未来が我々の前に横たわっている。このような状況にあって今後日本の教育はどのような人材を育てるのかというテーマは重要なテーマであり、なかでも新しい世界を構想していくことが出来る創造的で主体的な人材の育成は我が国はもとより世界的にも重要なテーマと考える。グローバルに活躍出来る主体的人材の育成に日本の大学また教育界はどのように貢献できるかというテーマについてこの分科会のみなさんと議論したい。このセッションでは、小学校から大学までを連続した教育の過程と捉え、世界で活躍することができる主体性とはどのようなもので、また、どのような方法で育成出来るか等、既存の教育システムにとらわれない教育方法を実践してこられた教育現場の方、研究者を招いて分科会を行いたい。

コーディネーター ▶ 川田 隆雄 氏 同志社女子大学 学芸学部 教授

報告者 ▶ 堀 真一郎 氏 学校法人きのくに子どもの村学園 理事長・学園長  
金 正泰 氏 特定非営利活動法人 Glocal NET 代表、コリア国際学園 前校長、大阪つくば開成高等学校 教員  
福井 清 氏 徳島大学 副学長

### 交流会 17:00～17:30

大学において学生の主体性を育てる環境をどのように作るかに関して、交流会を開催し参加者それぞれが意見を自由に交換しあい、具体的な行動プランなどを考えたいと思います。

2/24(金)  
9:30 ~ 11:30

## 第6分科会

定員 270名  
(加盟校優先定員:160名)

講義形式

Zoom  
ミーティング

録画あり

# 大学教育と福祉課題 ～大学での支援のあり方を考える～

大学には、さまざまな障害を持ちながら学ぶ学生がいる。大学生活の中で、初めて障害に気づくことになる学生もいる。ヤングケアラーであったり、経済的な問題などを抱えている学生も存在し、大学の中で「福祉課題」が顕在化することがある。こうした学生たちは、授業やゼミで学習に集中できない状況によって自信を失ったり、自己実現の機会を奪われていることも多い。

しかしながら、福祉課題を抱える学生を発見しづらい状況があり、特に発達障害や生活面での課題は潜在化しやすい。さらに、学生が直面する困難に対して、大学はどのように支援したら良いのか戸惑うことも多い。本分科会では福祉課題を抱える学生を発見や具体的な支援のあり方について、実際に学生を支援する教職員や子ども・若者支援に関わる外部機関から報告者を招き、大学教育と福祉課題に対する支援のあり方を検討する。

コーディネーター ▶ 孔 栄鍾氏 佛教大学 社会福祉学部 講師  
中野 加奈子氏 大谷大学 社会学部 准教授

報告者 ▶ 伊東 みさき氏 大谷大学 学生支援部 キャリアセンター チームリーダー / 障がい学生支援チーム  
松山 廉氏 公益財団法人京都市ユースサービス協会 事務局次長  
岡崎 祐司氏 佛教大学 副学長 / 社会福祉学部 教授

2/24(金)  
9:30 ~ 12:00

## 第7分科会

定員 100名  
(加盟校優先定員:60名)

講義形式

Zoom  
ミーティング

録画あり

# ポストコロナで遠隔授業をどのように活用できるか

新型コロナウイルスの感染拡大による大学休講措置は、新たな教育方法を見出す契機となった。遠隔授業(オンライン授業)はその最たるものであろう。新型コロナウイルス感染症との付き合い方を知り、通常の生活に戻りつつある現在、多くの大学では対面授業が再開している。文部科学省の調査によれば、2022年度前期の授業を「半数以上を対面授業とする」と答えた大学等は1,165校中1,157校(99.3%)、「7割以上を対面授業とする」と答えた大学等は1,116校(95.8%)に上っている。しかし、せっかく獲得した「遠隔授業」の技術、設備を今後活用しないのはあまりにもったいないのではないか。そこで、本分科会では①DXを活用した授業運営 ②他大学との協働授業 ③海外からのオンライン授業の3つの事例を取り上げ、ポストコロナでの遠隔授業の可能性について考えてみたい。

コーディネーター ▶ 畑田 彩氏 京都外国語大学 外国語学部 教授

報告者 ▶ Eric HAWKINSON氏 京都外国語大学 国際貢献学部 教授  
池田 佳子氏 関西大学 国際部 教授  
前川 愛氏 京都外国語大学 非常勤講師

# 分科会

2/24(金)  
14:00～16:00

## 第8分科会

定員 150名  
(加盟校優先定員: 90名)

講義形式

Zoom  
ミーティング

録画あり

## その能力、どうしたら社会で活かせる？

### — 発達障害のある理工系学生の能力を専門職就労につなげるために必要な支援と課題 —

発達障害のある学生は得意・不得意の差が大きく、高い能力を持っている場合でも、コミュニケーションの不得手やこだわりの強さといった特性や、そもそもの発達特性のわかりにくさから、社会・企業の期待とのマッチングに困難が生じやすい。発達障害のある人の中には、いわゆる理工系分野に高い能力や資質をもっている人がいる。しかしながら、その能力が実際に社会で活かされるには、学生本人および学生を受け入れる企業・社会の間に、現状、様々なハードルや課題があると思われる。本分科会では、大学・企業・公的就労支援機関より、今まきに行っている取り組みについてご報告いただき、まずはそれぞれの立場での「今、取り組んでいること・課題となっていること」を共有していくことで、今後の示唆となる議論につなげたい。

- コーディネーター ▶ 三好 智子 氏 京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 教授
- 報告者 ▶ 藤川 洋子 氏 京都工芸繊維大学 アクセシビリティ・コミュニケーション支援センター 特定教授
- 佐野 友宇子 氏 オムロン京都太陽株式会社 人事総務課 精神保健福祉士
- 乾 智子 氏 京都新卒応援ハローワーク 就職支援ナビゲーター

2/24(金) オンライン参加 14:00～16:30  
会場参加 14:00～17:30

## 第9分科会

### ハイブリッド

講義形式  
(会場参加はグループワークあり)

録画あり

オンライン参加:  
Zoomミーティング

会場参加:  
キャンパスプラザ京都

## 学生が過ごしたコロナ禍の大学生活

2020年4月から新型コロナウイルス感染症予防対策として、各大学はキャンパスの閉鎖やオンライン授業の実施など、様々な対応をしてきた。その中で、特に2020年度入学者(現3年次生)は入学直後からコロナ禍の大学生活を過ごすことになり、社会状況や大学の対応に振り回されながら大学生活を過ごしてきたと言える。「可哀想」と言われることも多い彼らだが、実際はどのような大学生活を経験してきたのか。本分科会では、①全国の大学生を対象とした量的調査の結果(山田氏)、②2020年度入学生を対象としたインタビュー調査の結果(佐藤氏)、③コロナ禍の学生活動の実践報告(江崎氏)の3つの報告をもとに、コロナ禍の大学生活を学生視点から紐解きたい。そして、後半のワークショップ(会場参加のみ)では、「通常的大学生活」とは何かについてや、学生を理解するためにはどういった調査や情報収集と構成員や学生への共有方法があるといいのかを皆さんで検討したい。

- コーディネーター ▶ 中西 勝彦 氏 京都文教大学 総合社会学部 助教
- 報告者 ▶ 山田 剛史 氏 関西大学 教育推進部 教授
- 佐藤 万知 氏 京都大学 教育学研究科 准教授
- 江崎 洋子 氏 京都文教大学・短期大学 社会連携部 フィールドリサーチオフィス 職員
- 学生数名 京都文教大学 地域連携学生プロジェクト 商店街活性化隊しあわせ工房 CanVas

### 会場参加の場合

本分科会では、会場参加の方を対象にワークショップを16:30～17:30で開催します。グループに分かれ、発表内容を掘り下げます。発表者も交えてざっくばらんに意見交換する機会ですので、ぜひご参加ください。

※ オンラインの方はご参加いただけませんので、あらかじめご了承ください。



2/25(土)  
9:30 ~ 12:00

## 第10分科会

 定員 50名  
(加盟校優先定員: 30名)

 講義形式

 Zoom  
ミーティング

 録画あり

# 社会と融合する大学教育のかたちを考える

日本が直面する現代の社会課題に、少子高齢化に伴う生産人口の縮小、それに伴う国際競争力の低下や産業・就業構造の総体的な劣化、地方と都市、社会・経済格差の拡大などがある。地域再生と生涯学習の基盤となるべく、大学教育に寄せられる期待は大きい中で、「社会に開かれた」「社会と併走する大学」の具体イメージは像を結んでいない。具体的な産学連携だけでなく、産官学民連携でこれらの課題に挑戦するためには、従来型の企業内研究者(ハイ・タレント・マンパワー)の育成だけでなく、人材離散型の研究・教育システムの運用が必要となるだろう。本分科会ではそれらの未来について、実践事例を通じて検討してみたい。

コーディネーター ▶ 津村 宏臣 氏 同志社大学 文化情報学部 准教授

報告者 ▶ 渡邊 俊祐 氏 株式会社相互技研 京都事務所 所長、同志社大学 文化遺産情報科学調査研究センター 副センター長  
佐藤 哲 氏 東北電子産業株式会社 東京支店 支店長  
南 博史 氏 京都外国語大学 国際貢献学部 教授、NPO 法人フィールドミュージアム文化研究所 代表理事

2/25(土)  
9:30 ~ 12:00

## 第11分科会

 定員 270名  
(加盟校優先定員: 160名)

 講義形式

 Zoom  
ミーティング

 録画あり

# 学外の実践活動を生かした大学教育

急速な社会環境の変化とともに、さまざまな規模の社会課題が生まれている。大学教育においても学内だけの活動では難しい局面に立たされており、学外との接続を有効に活用した教育実践が急務になっている。従来からの「文系」「理系」「芸術系」という枠を超えた新しい発想が求められる今、暮らしやすい社会を生み出すための教育実践例を紹介する。具体的には、京都精華大学メディア表現学部で実践している全員必修の2年次の学外実習(インターンシップ)の実態について報告する。本学部は、2050年の未来から今を見つめる「活動」を重視した教学指針のもと、プロジェクト遂行に必須の技術・表現・コミュニケーションを複合的に学ぶことを目的としている。こうした教育ミッションを軸にしながら、大学と連携企業の関わり方と学生の実践状況を紹介します。学外を意識した大学の実践教育のあり方についての議論を深める場にしたい。

コーディネーター ▶ 小松 正史 氏 京都精華大学 メディア表現学部 教授

報告者 ▶ 吉川 昌孝 氏 京都精華大学 メディア表現学部 教授  
大下 大介 氏 京都精華大学 メディア表現学部 教授  
福原 習作 氏 北近畿鉄道ビジネス株式会社 代表取締役

# クロージングセッション

2/25(土) 17:00 ~ 18:30

定員 300名 (入室は先着順となります)

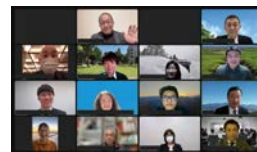
Zoom ミーティング

第28回FDフォーラムは、クロージングセッションについても、Zoomミーティングを使用し、開催いたします。

FDフォーラムに参加された方々とFDフォーラム全体を振り返り、相互交流できるようクロージングセッションを開催いたします。

シンポジウム・分科会にお申込みいただいた方は、どなたでもご参加いただけます。

事前のお申込みは不要です。是非お気軽にご参加ください。



クロージングセッション進行 ▶ 山口 洋典 氏 立命館大学 共通教育推進機構 教授



第28回FDフォーラムでは、プログラムの最後に「クロージングセッション」を実施いたします。この2年、COVID-19への対応のもと、オンラインで実施してきた中、「情報交換会」と称して実施してきたセッションについて、より実態に合わせた名称に変更しての開催です。

前半はご参加いただいた企画の感想交流を、後半は今後の展望を語り合う機会とさせていただきます。例年通り、参加者の皆さんからテーマを募ることで、全体での意見交換に加えてブレイクアウトルームを使用した対話も行います。最終日の夕方、今年もまた、振り返りと交流の有意義な機会となることを願っています。

## 注意事項

- クロージングセッションのZoomミーティングへのご参加方法は、FDフォーラムのシンポジウム・分科会にお申込みいただいた方にのみご案内いたします。なお、クロージングセッションのみのご参加は受け付けておりません。あらかじめご了承ください。
- 入室人数は300名までです。入室は先着順となりますので、混み合って入室できない場合は、時間をずらして再度アクセスください。
- 多くの方にご参加いただけるよう、ご参加はおひとり1デバイスとしてください。

## ポスターセッション

ポスターセッションでは、大学コンソーシアム京都加盟校の教職員・学生が実施する、特色ある教育に関する取り組みを発表します。

### 特設WEBサイトへのポスター掲載

公開期間 2/11(土・祝) 10:00 ~ 2/28(火) 23:59

第28回FDフォーラムポスターセッション特設WEBサイトに、ポスター及び説明動画を掲載します。

公開期間中はいつでも視聴・閲覧できます。

特設WEBサイトは、FDフォーラムのシンポジウム・分科会にお申込みいただいた方にのみご案内いたします。

### オンライン発表

発表時間 2/18(土) 13:00 ~ 16:00\*

2/18(土)に、Zoomミーティングを使用し、オンラインでポスター発表を行います。

また、ブレイクアウトルーム機能を使用し、ポスターごとに分かれ、発表者への質問や参加者間交流ができる時間も設けます。

- オンライン発表のスケジュール・Zoomミーティングへの参加方法は、特設WEBサイトにてご案内いたします。
- 入室人数は300名までです。入室は先着順となりますので、混み合って入室できない場合は時間をずらして再度アクセスください。

\* 発表件数に応じて、発表時間は変更となる可能性があります。

# お申込みについて

## 申込期間

大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短期大学の方を対象に、先行申込期間を設けています。  
先行申込期間中は、優先定員までの受付となります。

加盟大学・短期大学の方 2023/1/5(木) 10:00 ~ 1/27(金) 17:00

上記以外の方 2023/1/12(木) 10:00 ~ 1/27(金) 17:00

参加されるにあたり、障がい等により配慮が必要な場合には、1月27日(金)17時までにFDフォーラム事務局までご連絡ください。

## 申込方法

### 事前WEB申込

お申込みはこちらから ▶

 <https://www.consortium.or.jp/project/fd/forum>



- 本フォーラムは事前申込制となっております。申込期間外及びフォーラム当日の参加申込受付は行っていません。
- シンポジウム・分科会は事前申込制です。お申込み後の参加プログラムの変更はできません。
- 複数のシンポジウム・分科会にお申込みいただけますが、開催時間が重なっているプログラムにはお申込みいただけません。

### STEP 1 WEBからのお申込み(先着順)

- ① 上記URLから、お申込画面へ進み、メールアドレスを入力の上、送信してください。
  - ② 「参加申込みフォーム」のURLをお送りいたしますので、メールに記載のURLにアクセスし、画面の指示に従って申込手続きを行ってください。
- ※ 「参加申込みフォーム」のURL通知メールが届かない場合は、メールアドレス誤入力の可能性がございます。その場合は、お手数ですが、「メールアドレス確認フォーム」にメールアドレスを再入力・再送信してください。

### STEP 2 申込完了メールの受信

申込手続き完了後、申込者に「申込完了メール」をお送りいたします。  
※ 翌日になっても「申込完了メール」が届かない場合は、お問い合わせください。

### STEP 3 参加費のお支払い

**【参加費支払期限：2023年2月4日(土)】**

申込手続き完了後、郵送にて払込票(請求書)をお送りいたします。期日までに、最寄りのコンビニエンスストアで参加費をお支払いください。  
※ 払込票の取り扱い可能店は払込票の裏面に記載しております。銀行などの金融機関ではお取り扱いができませんのでご注意ください。

### STEP 4 「事前公開資料・Zoom入室方法のご案内」または「参加に関するご案内」メールの受信

参加費の支払手続きが完了した方へのみ、2月11日(土・祝)以降、参加者欄記載のメールアドレスに以下をお送りいたします。

- **オンライン参加の方**  
特設WEBサイトへのログイン方法をお送りいたします。  
特設WEBサイトより事前公開資料をダウンロードいただけます。また、当日のZoom入室方法につきましても特設WEBサイトにてご案内いたします。
- **第9分科会の会場参加の方**  
当日の参加に関するご案内をお送りいたします。

### STEP 5 Zoomからの参加または来場(当日)

- **オンライン参加の方**  
当日、特設WEBサイトからアクセスいただき、Zoomからご参加ください。
- **第9分科会の会場参加の方**  
当日、直接会場(キャンパスプラザ京都)にお越しいただき、ご参加ください。

## 参加費について

所属	区分	参加費
加盟 大学・短期大学	教職員	1,000円
	学生(大学院生含)	無料
非加盟 大学・短期大学 その他団体・企業等	教職員・一般	4,000円
	学生(大学院生含)	無料

- 開催中止の場合を除いては、理由の如何にかかわらず、参加費の払い戻しはいたしかねます。
- 申込手続き完了後は、申込内容の変更はできませんので、ご注意ください。
- 支払期限は、2023年2月4日(土)です。期日までに支払手続きが完了しない場合は、参加の意思が無いものと判断し、申込を無効とします。
- 所属・区分等の入力不備により、参加費を多く支払われても、返金できませんので、十分にご注意ください。  
なお、参加費が不足している場合は、追って不足分を請求させていただきます。

# スケジュール

2/11 (土・祝)	10:00～	ポスターセッション 特設WEBサイト公開(2月28日(火)23:59まで)	P.9
2/18 (土)	13:00～ 16:00	ポスターセッション オンライン発表	P.9
2/23 (木・祝)	9:30～ 11:30	第1分科会 あなたの大学の学習環境を教えてください!	P.4
	9:30～ 11:30	第2分科会 産学連携・地域連携を通じた大学教育を考える	P.4
	14:00～ 16:30	第3分科会 学びの場のダイバーシティとインクルージョンの実現	交流会 P.4
	14:00～ 17:00	第4分科会 25年度新入生は何をどう学んで来るのか(来ないのか) — 新指導要領を手がかりに大学基礎教育を考える —	P.5
	14:00～ 17:00	第5分科会 グローバルに活躍出来る人材の教育に大学はどのように貢献するか — 混沌とした世界で主体性を発揮できる人材の育成に向けて —	交流会 P.5
2/24 (金)	9:30～ 11:30	第6分科会 大学教育と福祉課題～大学での支援のあり方を考える～	P.6
	9:30～ 12:00	第7分科会 ポストコロナで遠隔授業をどのように活用できるか	P.6
	14:00～ 16:00	第8分科会 その能力、どうしたら社会で活かせる? — 発達障害のある理工系学生の能力を専門職就労につなげるために必要な支援と課題 —	P.7
	14:00～ 16:30*	第9分科会 【オンライン参加】	P.7
	14:00～ 17:30*	第9分科会 【会場参加】	
2/25 (土)	9:30～ 12:00	第10分科会 社会と融合する大学教育のかたちを考える	P.8
	9:30～ 12:00	第11分科会 学外の実践活動を生かした大学教育	P.8
	14:00～ 16:30	シンポジウム これからの大学でどのように学ぶのか～主体性を生み出す学びの多様性～	P.3
	17:00～ 18:30	クロージングセッション	P.9

■ 第9分科会のみ、ハイブリッド(オンライン: Zoom / 会場: キャンパスプラザ京都)で開催します。

\* 第9分科会はオンライン参加、会場参加で終了時間が異なりますので、ご注意ください。

## お問い合わせ先



公益財団法人 大学コンソーシアム京都  
The Consortium of Universities in Kyoto

教育開発事業部 FDフォーラム事務局

〒600-8216  
京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内  
☎ 075-353-9163 ☎ 075-353-9101  
✉ fdf@consortium.or.jp  
窓口受付時間: 火曜～土曜 9:00～17:00 (年末年始を除く)